

富士市中小企業景況調査結果

令和3年度 第1四半期【令和3年4月～6月】

令和3年7月
富士商工会議所調べ

◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、202事業所(回収率70.8%)を対象に、「令和3年4月～6月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和3年1月～3月 今期…令和3年4月～6月 来期…令和3年7月～9月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

◇ 今期調査の概況 ◇

前期・今期と比べたDI値の動き		↗改善	→横ばい	↘悪化
主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)	来期予測
業況	▲48.2	↗	▲28.9 (▲66.2)	↗ ▲14.2
売上	▲43.7	↗	▲25.4 (▲60.2)	↗ 4.7
採算	▲36.1	↗	▲24.6 (▲61.4)	→ ▲19.8

今期調査では、全産業合計の業況DIが+19.3ポイント、売上DI+18.3ポイント、採算DIが+11.5ポイントの改善となった。来期の予測について業況・売上DIは改善、採算DIは横ばいの見込みとなった。業種別の来期業況DIは、建設業・卸売業が横ばい、製造業・小売業・サービス業が改善を予測し、売上高は全業種で改善と予測。採算DIは製造業・小売業・サービス業が改善、建設業が横ばい、卸売業が悪化の予測となった。

全体を通して、終息の見えないコロナ危機やワクチン接種の遅れに対する不安感が目立った。原材料不足や価格高騰を懸念する声も多かった。官民ともに投資意欲が減少しているとのコメントも目立った。また、コロナ禍でも売上を伸ばす事業者もあり、二極化を指摘する声も多かった。

経営上の問題点では、製造業・建設業・小売業が「売上減に伴う利益減」、卸売業は「その他の需要の低迷」、サービス業は「売上、利益減による資金圧迫」がそれぞれ1位となった。

◇ 全産業の動き ◇

〔業況のDI〕 建設業は横ばい。他4業種は上昇。

来期は建設業、卸売業が横ばいを予想。他3業種は上昇を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲48.5	↗	▲28.1 (▲67.6)	↗	6.7
建設業	▲31.0	→	▲28.0 (▲41.4)	→	▲27.0
卸売業	▲52.2	↗	▲15.0 (▲82.6)	→	▲15.0
小売業	▲54.5	↗	▲41.7 (▲77.8)	↗	▲29.1
サービス業	▲57.7	↗	▲29.6 (▲65.4)	↗	▲11.1
全産業	▲48.2	↗	▲28.9 (▲66.2)	↗	▲14.2

〔売上高のDI〕 全5業種で上昇。

来期は、全5業種で上昇を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲53.0	↗	▲26.5 (▲64.7)	↗	19.4
建設業	▲46.7	↗	▲38.5 (▲48.3)	↗	▲23.1
卸売業	▲37.5	↗	▲10.0 (▲66.6)	↗	25.0
小売業	▲50.0	↗	▲37.5 (▲64.0)	↗	▲12.5
サービス業	▲28.0	↗	▲11.5 (▲57.7)	↗	15.4
全産業	▲43.7	↗	▲25.4 (▲60.2)	↗	4.7

〔採算のDI〕 建設業は下降。他4業種で上昇。

来期は製造業、小売業、サービス業で上昇を予想。建設業は横ばいを予想。卸売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲40.0	↗	▲12.1 (▲58.8)	↗	▲6.5
建設業	▲13.3	↘	▲42.4 (▲41.4)	→	▲40.0
卸売業	▲33.3	↗	▲5.0 (▲79.2)	↘	▲10.0
小売業	▲59.1	↗	▲37.5 (▲66.7)	↗	▲30.4
サービス業	▲40.0	↗	▲25.9 (▲65.4)	↗	▲14.8
全産業	▲36.1	↗	▲24.6 (▲61.4)	→	▲19.8

◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

【製 造 業】 景気ムード…【安 定】

『製紙』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。現状は「コロナのマイナス影響が長期化している」という意見が大半。今後は「来年はコロナが収まると見込んでいる」「緊急事態宣言解除後、ワクチン接種で人流の回復を望む」とコロナ不況からの回復を望む声が多かった。

『紙加工』…総じてコロナ不況による受注減少を不安視する声が多かった。現状は「(コロナとテレワークの影響で) 情報用紙の販売は落ち込んでいる」「コロナ禍の中で、紙加工、断裁等の外注依頼が減少」「若干上向きの傾向が見通せるものの、コロナ前の水準には戻らないだろう」と非常に厳しい声が多い。また、「働き方改革への対応や、原材料価格の高騰といった課題にも直面している」という声もある。この他に、「コロナの感染拡大に伴いインバウンド需要の消失で当初の計画に狂いが生じていたが、現在は少しずつ回復している」とやや好調ムードの意見も寄せられた。今後は、「コロナ禍においては、当分事業の回復は難しい。(ワクチン接種後の) 秋頃には経済や人の流れが7~8割程度回復するのではないかと思っている」と回答し、経済回復の為に早期のワクチン接種を望む声が多く寄せられた。

『金属加工』…総じて原材料不足、自動車産業の低迷を不安視する声が多かった。「半導体不足でメーカーが減産体制を打ち出したため、自動車部品も減少」「一般機械分野で成形機は好調だが、工作機械は低迷」「原材料の価格上昇」「自動車関連の復調の兆しが見えない」と厳しい声が大半を占めた。「米中の経済回復により自動車部品・工作機械の受注が増加傾向になってきた」と受注増への期待があると回答した事業所は一部あった。「今のところ秋まで仕事の引き合いがあるが、コロナ終息後の状況は予測できない」と予断を許さない状況との事である。

『金型部品』…総じて「非常に悪い」とする声が多かった。「業界の間では過当競争に陥っている。以前は受注できていた案件で見積もりを提供しても受注できない状況だ」と業界の現状を問題視する声もあった。その他、「早期のワクチン接種によるコロナの終息を願う」という声もあった。

『自動車部品』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「好調なトラックだが、受注残がなくなりつつある様子。コロナ禍でも物流は多いので、トラックの需要が減る可能性は低く、回復すると思われる」と前向きな声もあった。これは、トラックという特殊な車両であり、普通乗用車などは先行き不透明のようだ。原材料価格については、「鉄鋼スクラップ単価が高騰しているが、それ以外は変化なし」とのコメントがあった。

『衣料・繊維加工』…総じて原材料価格の高騰、需要低迷を不安視する声が多かった。「原材料の値上がり、需要の低迷に苦戦している。厳しい採算状況が継ぐだろう」「今後は需要低迷が続く採算が悪化する」「コロナが収まり経済状況が通常の状態に戻らないと、厳しい経営環境は変わらない」というコメントがあった。

『印刷資材・印刷関連』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「GWに期待されていた人出が、直前の緊急事態宣言により大幅に少なくなり、戻りつつあった広告宣伝の売上が減少」「コロナでインバウンド需要が激減しており、土産用の箱類や包装紙をメインにしている印刷会社は非常に厳しい状況である」とのコメントがあった。「コロナの終息次第だが、その終息の時までに飲食店や観光業者など広告を出す体力が残っているか心配」と長引くコロナ不況を危惧する声も寄せられた。

『食品』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「現状は、コンビニ・土産物などの対面販売は売上低迷。緊急事態宣言によりスーパーやドラッグストアは好調では

あるが、昨年と比較すると減少。Eコマースは好調」と販売形態により差が生じているとのコメントがあった。「海外からの原料調達が部分的に遅れており、この状況は年内続くようである」「主原料、エネルギーコストともに大幅な値上がり傾向が続き、このコスト増を製品への転嫁させるのは困難で非常に厳しい」と原料調達やコストに関するコメントもあった。「新型コロナの影響で見通しが立たず、状況は悪化していくと思われる」というコメントが大半であった。

『飲料』…「大手企業の好き勝手な販売方法に苦戦を強いられている」「今後は生産量を減らして、小売に力を入れていく」「イベントの中止が多いので、是非イベントをやってほしい」とのコメントがあった。

『製材』…「ウッドショックにより価格上昇が起きるのが分かっているが、なかなか販売価格を上げられない」とのコメントがあった。

『その他』…原材料価格の値上がり、原油高騰など懸念される声が多く、また様々なイベントの中止されており、イベントをやってほしいとの意見が寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	12.5	46.9	40.6	▲28.1	上 昇
売上高	23.5	26.5	50.0	▲26.5	上 昇
採 算	21.2	45.5	33.3	▲12.1	上 昇

〔建設業〕 景気ムード…【安定】

『総合建設』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「国交省並びに地方公共団体の公共投資は続いているが、民間企業は新型コロナウイルスの影響を受けて投資意欲が落ち込んでおり、厳しい状況である」「各案件に市内ばかりでなく市外の業者も入札参加し過当競争になっている」「今後については、政府系、民間ともに新型コロナウイルス感染症の影響により前年度よりも減少する予測である」と全体で投資が減少していることと過当競争に関するコメントがあった。また「木材不足、鉄骨造のボルト不足による工期の遅れによる問題が心配である」とのコメントもあった。「新型コロナの影響もワクチン接種が全体に進めば状況は変わると思われるが、当面は競争激化により売上及び収益の悪化となりそうである」とのコメントがあり、コロナ終息後に直ちに業況が安定するわけではないとのことである。

『一般住宅』…総じて他に比べて不安要素は少ない様子である。「現状はコロナ禍でもあまり変化はない。材料費の値上がり、もしくは材料が入らなくなるかもしれないと不安があり、ウッドショックも周知のことだが、今のところ大きな影響はない」とのコメントがあった。今後については、「用途区域の見直しにより建蔽率の緩和が施されたので、二世帯を検討する人も増加するだろう」「高齢化による平屋建ても増えてきている」とのコメントがあった。

『建設関連』…総じて官民とも投資意欲の減少を不安視する声が多かった。「コロナで設備投資がなくなり建設予定工事も中断。しかし8月以降に仕事は増えそうだ」という予測のコメントがあった。「建設物件が減少傾向のため、建設資材の需要が減っている」「産業廃棄物埋立処理場の枯渇については、建設業のみならず市民生活・産業界の将来リスクであるため早期解決を願いたい」とのコメントもあった。今後は、「コロナが収まらなければ、今後の景気回復は見込めない」「公共工事が例年に比べ少なく民間に頼るしかない」「国・地方ともに財政難であるが故、今後の見通しは暗い」「今はコロナ終息後の経済立て直しへ

スピード感を持って対応するよう願うばかりである」とのコメントがあり、コロナの早期終息を期待する声は多い。

『**土木関連**』…「新規の建築・建設が減少」「材料（リサイクル砕石）の需要が減少」「今後は、先行不透明」「リサイクル（産業廃棄物）に力をいれていく」とのコメントがあった。

『**造園土木**』…「民間の庭木の伐採が多くなった」「新型コロナの影響で民間企業の需要低迷が続いている。公共事業にあっては、新規の公園等の工事は低迷しているが、公園道路等の緑花木の維持管理は減少していない」とあり、企業、公共工事が減少し、一般家庭が増加するという状況である。また、「造園管理の入札に組合員でない企業が低価格で落札した」とあり、入札のあり方に疑問を呈するコメントもあった。今後については、「公共工事の増加に期待したい」という意見が多かった。

『**設備工事**』…「受注の増減はないが、来季の受注は減少する予想である」「今後は競争力の低下による売上減の為、見通しは厳しい」とのコメントがあった。

『**その他**』…「ワクチン接種の申込が年配者には電話がつかないし、ネット等は高齢者には難しい」「ワクチンの遅延が全てに悪影響を及ぼしている。行政には全力で取り組んでいただきたい」と行政のコロナ対応に対して不満を述べるコメントがあった。公共投資関係では、「富士市の体育館建設工事の動向が気になっている」「間門町内に位置する急傾斜地の落石等の防護網設置工事が、富士土木事務所発注で近々工事入札が行われ、第一期工事が実施される予定」などと公共事業への期待が寄せられた。また、「沼津市では大規模野菜工場やイトーヨーカドー閉店後の新規開発が進められている。富士市も行政をあげての企業誘致、開発を積極的に進めて頂きたい」との行政による企業誘致を希望する声が寄せられた。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	8.0	56.0	36.0	▲28.0	横ばい
売上高	11.5	38.5	50.0	▲38.5	上昇
採算	3.8	50.0	46.2	▲42.4	横ばい

【卸売業】 景気ムード…【安定】

『**機械器具**』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。現状については、「半導体の影響で国産部品（主に制御機器）の納期に遅れが生じており、生産に支障をきたすユーザーが出てこないか心配である」といった生産体制に関するコメントが寄せられた。今後については、「コロナ終息後の需要に期待している」「二極化が更に進むと思われる」といった意見が寄せられた。「期待したいが、長い目で見るしかない」とコロナ不況の長期化を覚悟している声もあった。

『**自動車部品**』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「前年同時期はコロナ発生の時期で、感染を警戒し車での遠乗りを控えたため、車の消耗や破損も少なく補修部品の需要が落ち込んだ。今期は引取り中古車の需要が増え、補修部品の売上も前年に比べ3~4%増加したが、これは平時の売上げに戻った程度という感じ」というコメントがあった。今後については、「景気が良くなる見通しは無いが、オリンピックの実行如何によって決まる部分もある」との意見があった。

『**金属部品**』…「現状については全般的に縮小傾向で、今後についても減退するだろう」とのコメントとの通り厳しい状況である。

『**建築材料**』…「現状については木材不足で価格が急激に高騰している」「今後について木材不足は更に悪化する」とのコメントがあり、先の一般住宅とは異なり、ウッドショックの影響をダイレクトに受けている様子が見取れる。

『**紙**』…総じてコロナの影響で情報用紙の需要が大幅に下がったとの声が多かった。「情報用紙は需要の落ち込みが酷い。遊園地の客の減少、イベントの中止等で紙の需要が減った」「板紙のほうは何とか動いているので助かるが、先行きがどうなるのか全くわからないので慎重にいくしかない」先の紙加工と同様に、コロナ不況は情報用紙の消費に相当影響していることが読み取れる。今後については「コロナの影響がなくなると何とも言えない」「ワクチン接種率が低い状況で先行き不透明であり、家庭紙、衛生用紙以外で回復が見込めない」「紙販売はコロナが終息すれば売り上げが戻る事を期待する」とコロナの早期終息を願う声が多かった。

『**製紙原料**』…「回収量が不足しているが、相場価格も下落している」「今後については、原料価格にもよるが今のままでは相当厳しい」というコメントがあった。

『**再生資源**』…総じて当分は好調との声が多かった。現状については「鉄スクラップは、発生減と需要旺盛により価格が上昇」「非鉄スクラップは、コロナ後のインフラ整備、EVの開発で輸出好調のため価格が上昇している」「中国のコロナの動向に伴って需要が増し、鉄鋼、非鉄製品需要が増加している。製品価格、材料価格が上昇して近年にない高値を示した」「急激な上昇を中国政府は抑えたことにより、後は若干下落の予想」「貴金属リサイクルに関しては、コロナ禍において世界情勢とともに建値等動向を注視していかなければならない」とのコメントがあった。今後についても、「鉄・非鉄スクラップは、コロナ禍で工場等の休業、解体工事減の為、当分は好調だろう」と今期唯一“好調”とのコメントが多く見受けられた業種である。この他に「医療廃棄物処理に関しては、ソーシャルワーカーとしての需要は高まるが、早期予防接種等の優遇措置は無く、またソーシャルワーカーとしての認識がされにくい」との意見があった。

『**工業薬品**』…「家庭紙が余っており、今後生産調整が発生しそうである。今年いっぱい低調に推移すると思う」需要と供給のバランスが崩れ、先行き不透明である」とのコメントがあった。今後については「ワクチン接種を進め、一刻も早く平常時の生活に戻ること」に期待する」とのコメントがあり、この他に「原材料価格が原油価格上昇により高騰している」とのコメントがあった。

『**食品**』…現状、今後ともに需要減と供給過剰が続く。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	10.0	65.0	25.0	▲15.0	横ばい
売上高	30.0	30.0	40.0	▲10.0	上 昇
採 算	20.0	55.0	25.0	▲5.0	下 降

【小 売 業】 景気ムード…【安 定】

『**各種食料品**』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「コロナによる売上への影響が厳しく、このままでは生活できない」と行き詰まっているというコメントがあった。「新商品の開発、新業態店舗の出現等、新しい動きも活発になってきた。様々な

挑戦の時代に突入していくであろう」と時代の変化を前向きに捉える意見もあった。「巣ごもり需要で活況を呈している小規模零細、家族経営の店。一方で苦戦している中小企業、同業種でも明暗が別れている。コロナ禍の対応はネット販売だと騒ぐものすでに飽和状態の市場。先行独占で新規はまるでダメ。いかに“なぜ顧客は当店を選ぶのか”商いの原点に戻って試行錯誤中」と小売業の難しさを述べるコメントもあった。「材料費の大幅な値上がりしている事により利益を圧迫し始めている」「今後の見通しは政局が安定するかどうかにかかっている。その鍵はオリンピックがどのような形で幕を閉じるのかである。次に控えている衆議院議員選挙の結果次第では、日本経済は更に混乱するであろう。オリンピックの成功と政局の安定を切に願う」との意見もあった。「旅行や外食に使われていたお金が、巣ごもり需要に回ってきていると思われる。コロナ終息後に旅行外食が復活したらお金の流れはどうなるのか、期待と不安が入り混じる」とのコメントもあった。

『食料・飲料』…総じて茶業界を活性化させたいという声が多かった。現状は「ペット茶の普及により茶価の低迷が続いている。茶農家は採算の悪化に耐えられない状況が続いている。業界あげて対策が必要」「当園は新茶における販売量は当初減少を見込んでいたが、徐々に回復し若干の減少にとどまった。本年は災害もなく肥培管理も功を奏し内容の良いお茶が仕上がった。今後の需要に期待したい」と明暗が分かれている。「茶業界は全体的に消極的になってきている。美味しくて品質の良いものを生産するという業者が少なくなっているが、努力が足りないと思う」という業界に対して厳しい声もあった。「今後は、数少ない良質な高品質茶を製造する事業者は残る。高品質茶を求める消費者は大勢いる。低価格なお茶を作るか、高品質なお茶を作るか、見極める時だと思う」という意見があった。

『医療器具』…「ネット販売が増えた事により、市場価格は低下傾向である。今後は少子化に伴い、販売数低下への対策が必要である」とのコメントがあった。

『衣料品・呉服』…総じてコロナの影響で非常に苦しいという声が多かった。「コロナにより来客は全くなし」「夏まつり、花火大会等のイベントがなく、売り上げ不振。展示会等も開催されず今は耐えるしかない」「コロナの終息後も全然予測がつかない」とコロナ不況に苦しむコメントが大半であった。

『生花』…総じてコロナの影響で非常に苦しいという声が多かった。「コロナにより昨年3月以降全てのイベント関係が中止となり悪化」「花も出荷予想が立たなくなり商品不足となっている」とのコメントがあった。今後については「ワクチン接種により、安全に人が交流できるようになるまでは状況は変わらない」と早期のワクチン接種を望むコメントが大半であった。

『日用品・雑貨』…コロナ禍でも、商品や販売方法により明暗は分かれている模様。「ステイホームで料理に興味をもつ男性が増え、業務用の中華鍋、包丁等の品切れが続いている。キャンプ用の食器類も若干売れている」「コロナ影響下で需要の低迷が続き、廃業が相次いでいる。時計はいわゆる贅沢品で、使用する場面が減っていることから、処分したいという高齢者が多い」「メイク関連の国内需要はマイナスで、スキンケア関係はプラス」と状況は様々である。「飲食業、宿泊施設、旅行業等が厳しい状況下と報道されているが、それら業種のみならず、小売業全般にコロナ禍の影響があると考えている。不要普及の外出自粛の状況が続けば、更に景況は悪化すると思う」と長引くコロナ不況を不安視する声が寄せられた。「実店舗での営業は厳しいが、通販が非常に好調」という意見もあり、対面販売から非対面販売への消費者ニーズの流れが読み取れる。「予想を上回るペースでキャッシュレス化が進んでおり、現金の確保が難しくなっている」というコメントもあり、コロナの影響で販売方法の変化（非対面販売やキャッシュレス）が急速に進んでいることがうかがえる。

『家電』…「熱中症予防を徹底しようと各家庭の早期のエアコン試運転を呼び掛けている」「東京オリンピック・パラリンピックの開催を間近に控えているが、テレビ市場が大きく

変動するという事は無い。今年は4Kテレビで観戦を楽しんでいただきたい」というコメントがあった。

『自動車・部品』…総じて自動車産業の将来を不安視する声が多かった。「ここに来て非常に厳しい状況になっている」「世界的にカーボンニュートラル社会に向けた動きが加速。自動車各社が生産活動の面でもCo2排出量を削減する取り組みを急いでいる。小規模企業者はますます時代の流れについて行くことに厳しさを感じる」「今後については全く読めない。国内は電気自動車なのか水素を燃料とした自動車になるのか予想がつかない。設備インフラがどうなっていくかも分からない」とのコメントが寄せられた。

『自転車』…世界的に自転車部品の供給が滞っている状況で、スポーツ車を中心に在庫不足が続いている。今後も在庫状況は変わらず、メーカーは値上げ傾向にある。

『その他』…「ドラッグストアの台頭が著しく、価格競争では歯が立たない。今後、ますます過激な競争に巻き込まれ、このままではやっていけなくなる。過度な自由化、規制緩和は地方、地域をダメにしている」「当店のターゲットは高齢者が多い為、どんな集客策をしても今は全く効果がない。こんな毎日だと閉店するしか道が無いと考えている」「高齢化が進み、茶農家を辞める方が増えてきた」「一番茶の生産量が減少し、二番茶の良質茶を求めるが、生産量は減少の一途である」「吉原祇園祭が中止になり、祭典行事は神事のみ行われた。花手水が行われたので、参拝者は見学を兼ねて多く見られた」「吉原祇園祭は2年連続で中止となった。吉原商店街では、コロナの影響で不振の続く個店を支援するため、商店街独自でプレミアム商品券を発行する予定である」「吉原の老舗手芸店が閉店した。飲食店の新規出店は多いが、物販は減少の一途である」「予防接種に関心がいってしまい、今すぐに必要ないものならば買い物を先延ばしにしているようである」「廃業、閉店が増えて、年配者が出てこなくなった既存の商店街は、ますます厳しいものになる」「市内大型店の撤退に関する噂が流れているが本当なのだろうか」「オリンピックの自転車競技が楽しみである」「富士駅北口の再開発の早期完成を強く願う」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	20.8	16.7	62.5	▲41.7	上昇
売上高	20.8	20.8	58.3	▲37.5	上昇
採算	25.0	12.5	62.5	▲37.5	上昇

【サービス業】 景気ムード…【安定】

『飲食』…総じて長引くコロナ不況を不安視する声が多かった。「静岡県内は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は出ていないが、東京、神奈川、愛知に挟まれ、過剰な報道が続けば、真面目な富士市の人々は、外出や外食を控えるように感じる。コロナが続く限り売り上げ増の見込みはない」「今のままでは見通しが立たず経済の立て直しが不可欠」とコロナ禍での飲食店の復活は絶望的とのコメントが多かった。「今後、ワクチン接種が進めば、ある程度はお客様の戻りはあると思うが、コロナ前のような客足に戻るかは疑問であり、不安である」とのコメントがあり、飲食業界にとってコロナ不況は単にワクチン接種だけで乗り越えられるものではないだろうと示している。「イトインの売上が悪い反面、テイクアウトが伸びている。これからはテイクアウトの需要を伸ばす為の営業活動を含めた宣伝が大事になっていく」と販売方法の転換を視野に入れたいというコメントもあった。

『クリーニング』…総じて厳しいという声が多かった。「ホテル等の法人向けの仕事は、緊急事態宣言などでホテルの営業活動自体が困難な状況が続いており、売上の落ち込みが大きくなっている。現に本店と契約が切れてしまったホテルもある。家庭市場は外出自粛の影響で微増」とのコメントがあった。

『**運輸・倉庫**』…「緊急事態宣言が出るたびに比例して売上げが落ち込む」「全体的に売上げが落ち込んだが、持続化給付金があり助かった」「ワクチン接種が早く進み、コロナを終息させないと経済が前に進まない」とのコメントがあった。

『**自動車整備**』…「コロナ危機を起因とする経済活動収縮で設備投資の減少（コンクリートミキサー車等の新車塗装）、今後も先行き不透明で既存顧客の確保が命綱となる」とのコメントがあった。

『**不動産**』…総じて供給が増加しているという声が多かった。「需要は減少。昨年11月から本年5月までは宅地の需要はあったが、今後は見通せない。コロナ禍につき、需要が上向きには時間がかかりそうである」「土地売却希望者が増加傾向。高齢者世帯の増加による財産処分の依頼が多い。開発行為による造成地（宅地）は各地で見られるが、需要とのバランスを考えると積極的にはける状況とは言い難い」「分譲地が増え弊社の物件が売れるのか心配していたが、建て売り業者が購入し建築が始まった。手間はかかっても今のところ売れていくので、岩松、岩松北地区の世帯数は増え、小中学校の児童・生徒数も増え続けている」「コロナが落ち着いて地域経済が安定し需要の回復を期待したい。企業からの引き合いも増えているので全体としての期待感は増えている」「分譲地の供給過剰の様子が否めない。相続等にあたり、土地や建物の売却、有効利用の相談が増えた。不動産業者にとっては商機であると同時に、街中への人口誘導等、社会貢献の手腕を発揮し使命を果たしたいと考えている」といったコメントがあった。他の業種に比べコロナ不況の影響は比較的少ないようだ。

『**求人広告・広告デザイン**』…「コロナ禍による休業、廃業によって求人需要が低下。求人媒体への掲載控えが顕著である。全体として受注減のため今後の見通しはつきにくい」とのコメントがあった。

『**専門サービス**』…総じて過当競争に陥っているという声が多かった。「どの士業も同じだが、競争が激しくなり勝ち組負け組がはっきりするだろう。負け組は良いお客様から選ばれず良い人材も確保できず、事業継続も危うくなると思われる」「競争激化と勝ち負けの二極化の傾向は、今後も変わらないだろう」「顧問先が高齢化に伴い事業承継、M&Aが課題となっているが、経営者の突然の病気により何の準備もなく事業承継に直面するケースが数件続いている」といったコメントがあった。今後は、「社会的構造に様々な変化が起きている。それぞれの業界も環境変化がやってくると思われるが、その変化にいかに対応するか人・物・金の経営資源を効率よく稼働させるかにかかってくる」とのコメントがあった。

『**旅館・ホテル・旅行業**』…総じてコロナの早期終息を求める声が多かった。「宿泊業は回復の目処が立たない。販管費は変動しないため赤字となる」「コロナが収まらないと動きが取れず、営業訪問しても相手にされない。2019年3月以降、仕事らしい仕事がなく支援も少なすぎる。旅行業者がコロナ被害の最前線だと思う」今後は「わずかだが客足は伸びてきている」「コロナ終息後、旅行需要が爆発的に増えるのかどうかは意見が分かれるが、仮に増えたとしても大手旅行会社の集客にはかなわず、小規模旅行社には厳しい状況は変わらない」とのコメントがあった。

『**介護事業**』…総じて人材不足に悩んでいるという声が多かった。「介護保険業務は国の方針により日々変化している」「介護業界は人材不足の状況が続いている」「看護小規模多機能は今後伸びていくと予想。医療連携を密に治療しながら施設に泊る、通いができ在宅での看護介護ができるといったサービスは、入院の頻度が減少し経済的な負担が少なくなる」とのコメントがあった。

『**観光バス**』…「コロナ終息が見込めないと需要が戻ってこない。オリパラの開催可否も大きな影響がある」とコメント。

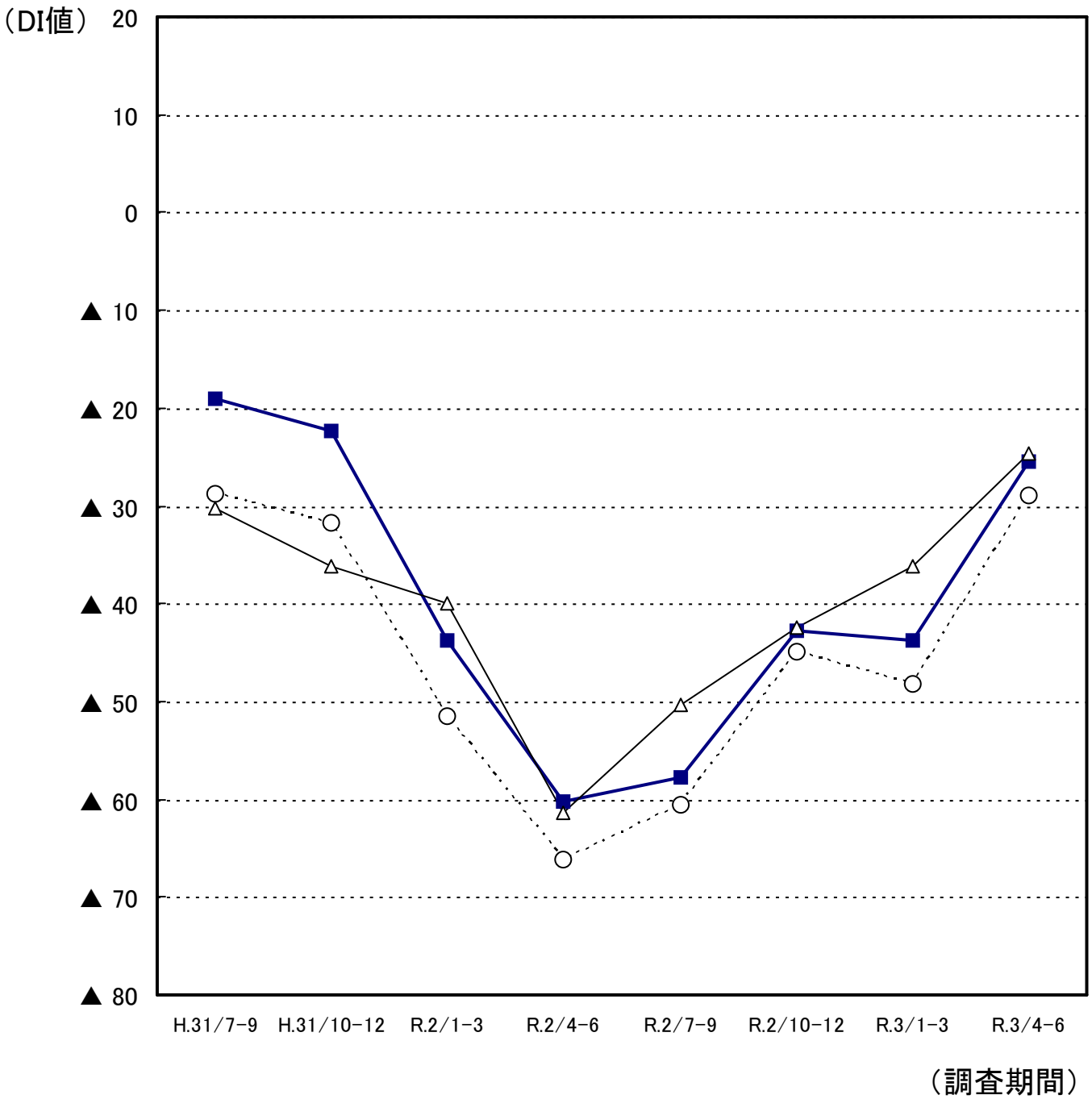
『**その他**』…「富士駅前再開発が動き出すようだ」「ガソリン、灯油が値上がりしている」「外国人の技能実習生を雇用しているがコロナ禍で困っている」「沼津線、富士岡信号付近にローソンに続き大型のウェルシアがオープン。また、近隣に藤岡郵便局の移転工事が進

んでいる」「富士地区は今こそ企業誘致に力をそそぐべき。地域としては非常に魅力のある場所だと思う」「19区画の宅地分譲が行われている。約半分は買い手がついたようだが、残りは目途が立たっていない。この地域では、久しぶりの大型分譲であり、推移を見守りたい」「新堀団地（市営住宅）の解体が決まった。高度経済成長の時代に多くの子ども達が育った場所で、富士市の発展に大きく貢献してきたと思う」「新々富士川橋の開通が近づき、地域の景色が少しずつ変わってきた。記録写真を撮っておけば良かったと思う」とのコメントがあった。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	14.8	40.7	44.4	▲29.6	上 昇
売上高	30.8	26.9	42.3	▲11.5	上 昇
採 算	22.2	29.6	48.1	▲25.9	上 昇

全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上 ○ 業況 △ 採算

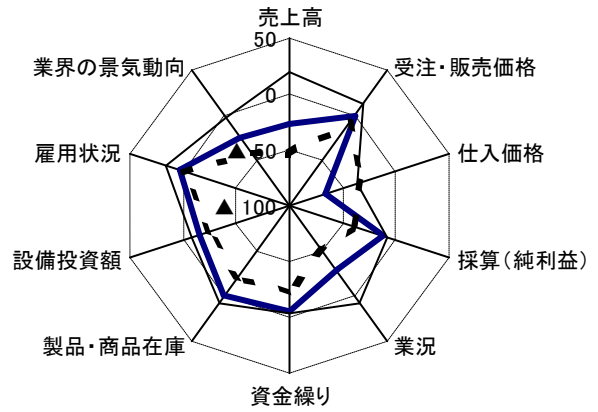


レーダーチャート

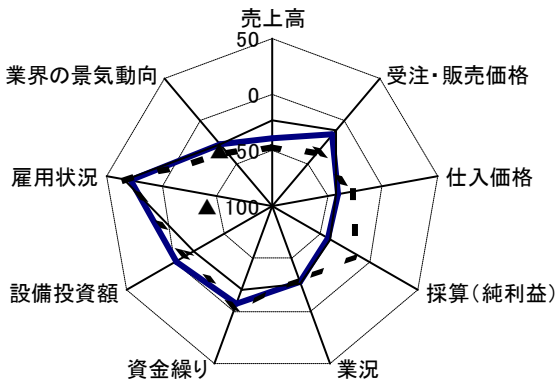
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比	———
来期予測	———
前回調査時	- - - - -

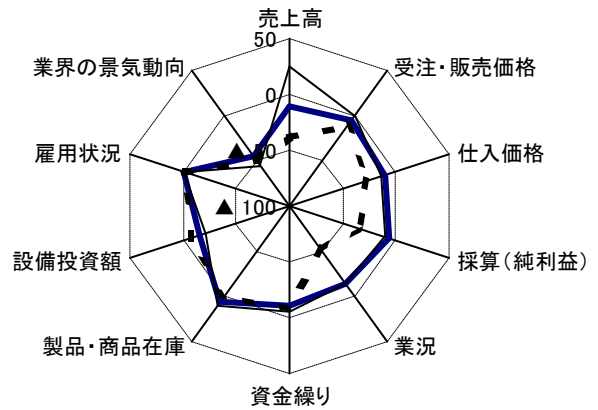
【製造業】



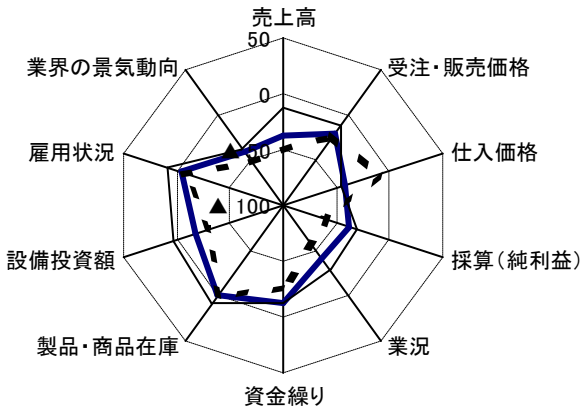
【建設業】



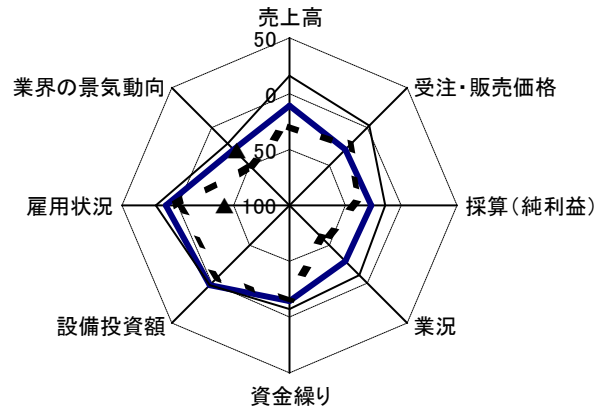
【卸売業】



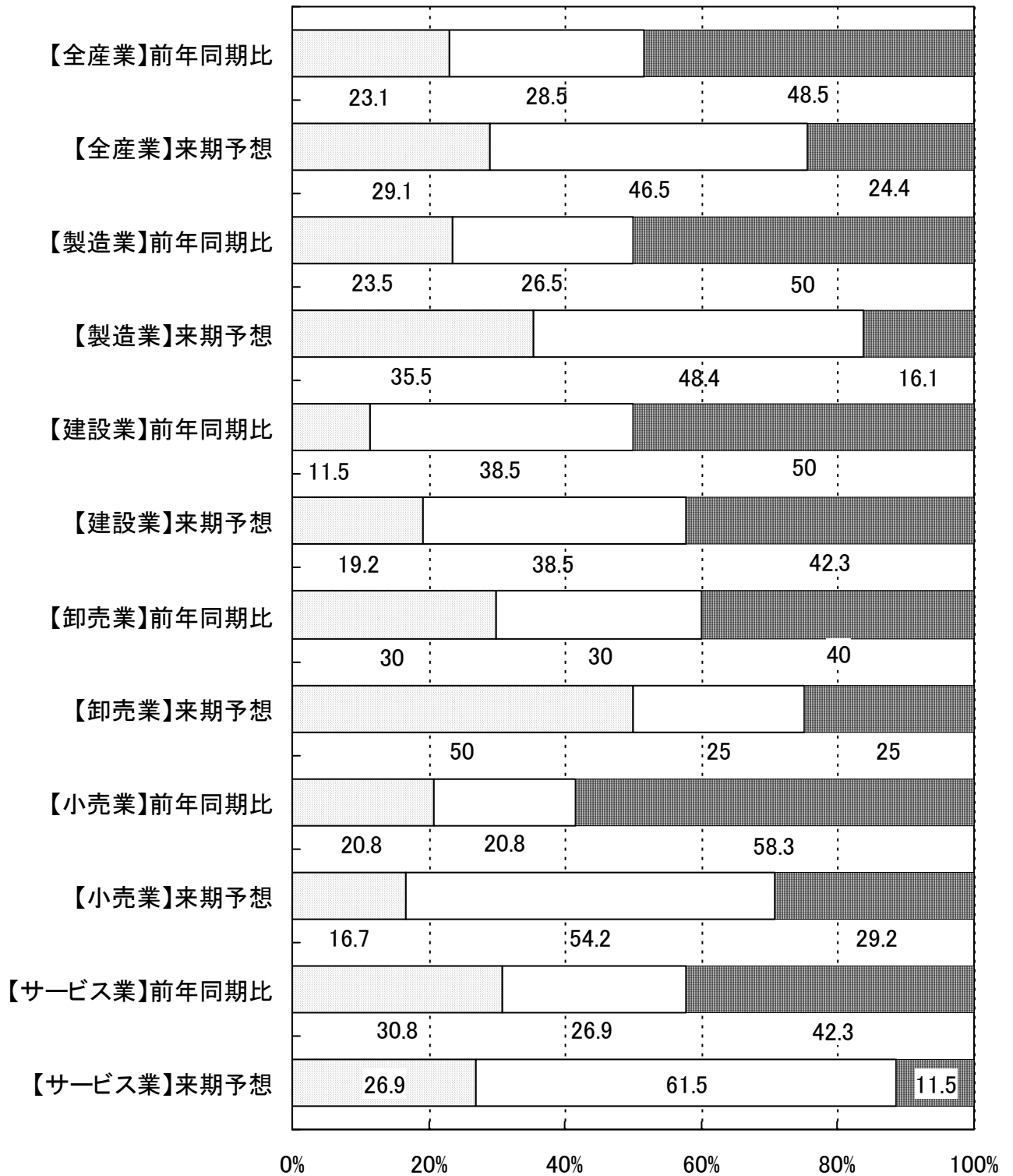
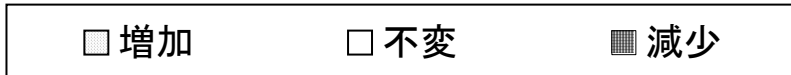
【小売業】



【サービス業】



売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産 業 別	上 位 回 答 項 目
製造業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／商品、原材料仕入れ価格の上昇／設備老朽化</p> <p>3 位 人材不足</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>
建設業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 過当競争</p> <p>その他 その他の需要の低迷／設備老朽化</p>
卸売業	<p>1 位 その他の需要の低迷／売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 販売価格の低下／売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 その他の経費増大／商品、原材料仕入れ価格の上昇／人材不足</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>3 位 販売価格値上げ難</p> <p>その他 その他の需要の低迷／設備老朽化</p>
サービス業	<p>1 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>2 位 売上減に伴う利益減／設備老朽化</p> <p>3 位 過当競争</p> <p>その他 人材不足</p>

最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2021年6月24日）

日本銀行静岡支店
照会先 TEL 054-273-4106

（概況）（管内金融経済概況早見表）県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体不足の影響などから、このところ足踏み状態にある。最終需要の動向をみると、公共投資は高水準で推移している。設備投資は持ち直している。住宅投資は幾分持ち直している。個人消費は、財消費は堅調な一方、飲食・宿泊等のサービス消費における下押し圧力の強まりから、持ち直しが一服している。輸出は輸送用機械を中心に増勢が鈍化している。こうした下で、企業の生産は、このところ半導体不足の影響などから減少している。雇用・所得環境をみると、労働需給は悪化に歯止めが掛かりつつあるが、全体としては引き続き厳しい状態にある。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

（1）個人消費（前回からの変化） → 財消費は堅調な一方、飲食・宿泊等のサービス消費における下押し圧力の強まりから、持ち直しが一服している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車新車登録台数・販売台数は、持ち直しが一服している。コンビニエンスストア売上高は、弱めの動きとなっている。家電販売額は増加している。ドラッグストア売上高は、増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、大幅に減少している。

（2）公共投資（前回からの変化） → 高水準で推移している。
（公共工事請負金額前年比：21/4月▲17.5%→5月▲19.9%）

（3）設備投資（前回からの変化） → 持ち直している。
（短観・設備投資額：20年度計画▲6.9%→21年度計画7.8%）

（4）住宅投資（前回からの変化） → 幾分持ち直している。
（新設住宅着工戸数前年比：21/3月1.5%→21/4月8.9%）

（5）輸出（前回からの変化） → 輸送用機械を中心に増勢が鈍化している。
（輸出額前年比：21/3月+22.5%→4月+37.2%<速報値>）

清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

2. 生産、雇用・所得、物価の動向

(1) 生産(前回からの変化) → このところ半導体不足の影響などから減少している。

(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：21/2月▲4.2%→3月+5.9%<速報値>)

自動車・同部品は、減少している。二輪車・同部品は増加している。食料品は、弱めの動きとなっているほか、電気機械は、減少している。化学は、弱めの動きとなっている。はん用・生産用・業務用機械は、持ち直している。紙・パルプは、減少しており、楽器は、持ち直している。

(2) 雇用・所得(前回からの変化) → 労働需給：悪化に歯止めが掛かりつつある。(→)

雇用者所得：悪化している。(→)

(有効求人倍率 季節調整値：21/3月1.01倍→21年4月1.01倍)

(3) 物 価 前年を下回っている。

(消費者物価指数(除く生鮮食品)：前年比21/4月▲0.8%→5月▲0.4%)

3. 企業倒産、金融面の動向

(1) 企業倒産 . . . 総じて落ち着いている。

(21/5月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(15件<前年比：+36.3%>)
負債総額(31億円<同：+117.4%>)

(2) 預 金 前年を上回っている。(前年比：21/3月末+9.6%→21/4月末+8.9%)

(3) 貸 出 前年を上回っている。(前年比：21/3月末+5.6%→21/4月末+4.3%)

(4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比低下している。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)
(水準：21/3月1.425%→21/4月1.420%)

以 上